

代々木病院の理念

ヒューマニズムにもとづく医療・介護の実践

くらしと健康

発行 東京勤労者医療会 代々木病院 1部60円
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-30-7
TEL.03(3404)7661
E-mail address yo\_sosiki@tokyo-kinikai.com
友の会会員は会費に購読料がふくまれています。

国民の命を守る社会保障に

高齢者に重くのしかかる医療・介護の大改悪

国会で審議中の来年度予算案は、社会保障費を大幅削減し、医療、介護、年金など負担増と給付削減をさらにすすめるようとしています。一方、防衛費は、過去最大の5兆1251億円で5年連続増額です。私たちは、患者さんや地域の方々の命と健康を守る社会保障の実現を求めます。(組織広報室・嘉瀬秀治)

高齢者の増加分認めず、さらに削減

来年度の社会保障費は、高齢者の増加分(自然増)を加えると現状で約1兆円が見込まれるのに、安倍内閣は、自然増分を削った上、さらに5000億円に圧縮するた

め、無理やり1400億円(医療分野で950億円、介護分野で450億円)を削減し、医療と介護の制度見直しによって負担増と給付削減を押しつけようとしています。毎年、社会保障費2200億円もの削減を行った小泉内閣時代をも遙かに上回る削減です。

医療、介護の負担増と給付削減

医療では、①70歳以上で一定収入の方の窓口負担月額上限の引き上げ②75歳以上の保険料軽減を縮小し低所得者の5割軽減を2割に削減、扶養家族だった人の9割軽減も7割に削減します。③さらに、療養病床の入院65歳以上の水光熱費1日320円を370円に値上げしようとしています。介護保険では、①一般的な課税世帯の利用料負担上限額を3万7200円から、現役並み所得の世帯と同じ4万4400円に引き上げ②一定所得以上の利用料を2割から3割に引き上げようとしています。

お金がなく命を落とす社会

代々木病院が加盟する全日本民主医療機関連合会は、毎年、経済的事由による「手遅れ死亡」事例調査を行っています。高すぎる保険料や医療費が払えず、無保険となり治療が遅れ、命を失う事例が全国から寄せられています。私たちが、税金の使い方、集め方を転換し医療費を増やした大企業や税制で優遇された富裕層に自分の税負担を求め、不要不急の大型公共事業の削減、負担義務のない米軍思いやり予算や軍事費の削減などで実現できると提案しています。

患者さんの声

渋谷区内の区営住宅に住む上野忠國さん76歳。2015年9月区内の病院で心臓弁膜症の手術をし障害一級に。娘さんと二人暮らし。1か月入院したが障害手帳がもらえたので今回医療費は助かったが、これまで内科で長く通院してきた。年金は減らされ、医療費もまた値上げしようとしている。「一生懸命働いてきて、もう

今後も改悪をすすめるメニューが

安倍内閣は、負担増と給付削減を2018年までさらに具体化、実施し

「経済的理由で国保料を滞納し、無保険となり、身体異常に気付きながら我慢し、運ばれた時には末期がんで1年後死亡」

する事例がありました。現在、「お金の格差が命の格差」という事態となっています。代々木病院では、健康友の会と医療・介護の充実を求め、街頭でのビラ配布やマイクでの訴え、署名集め、議員要請行動を行い、患者さんや地域住民の声を国会、地方議会に届けています。また、経済的理由で医療が受けられないことがないように、無料低額診療事業や入院時の室料差額ベッド料金を徴収しない病院運営を行っています。社会保障の充実には国の責任です。「命を守れ」の声を集め、大きく広げようと緊急署名に取り組んでいます。みなさんのご協力をお願いいたします。

萱の千駄

小さいころから絵が大好きで、おっとりしているそんな子が、年頃になって広島から呉に嫁入りする。楽しいことやつらいこともあるけど、懸命に生きる姿が可愛くて美しい。その名は▼映画「この世界の片隅に」は評判を呼び、先月には全国三四ヶ所で上映・予定されている(公式ホームページから)。

えよう▼舞台は昭和十九年から二十一年まで。その時代を背景にしながら一貫して「まず」を中心に市井の生活を丁寧に描く▼映画を見て驚いた。戦争が悪いのはわかっているのに、そんな境遇に迎合していた自分の心の動きに▼今の世の中、原発事故から六年たつが何も解決していない。放射線が怖いからフクシマの食材は買わない、補助金をもらっているからみんなのお菓子を買い、除染したから帰っていいよ▼消費税が上がって計算が面倒、職が見つからないのはその人の努力が足りない、沖縄は基地があるから経済が成り立っているも同じこと▼本当の幸せとはなにか、本当に変えなければならぬのは何か、見極める力をつけよう。(み)